

令和7年度
愛媛大学大学院修士課程
修了予定者アンケート調査報告書

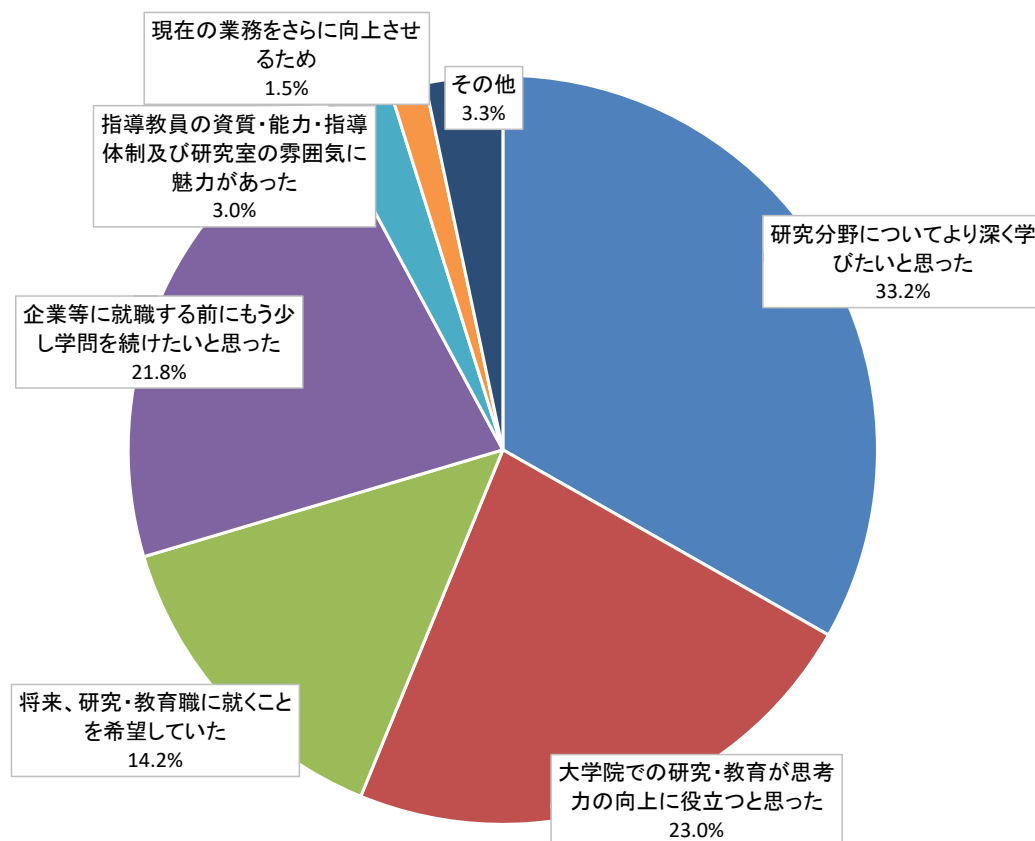
愛媛大学教育・学生支援機構

「令和7年度修了予定者アンケート」

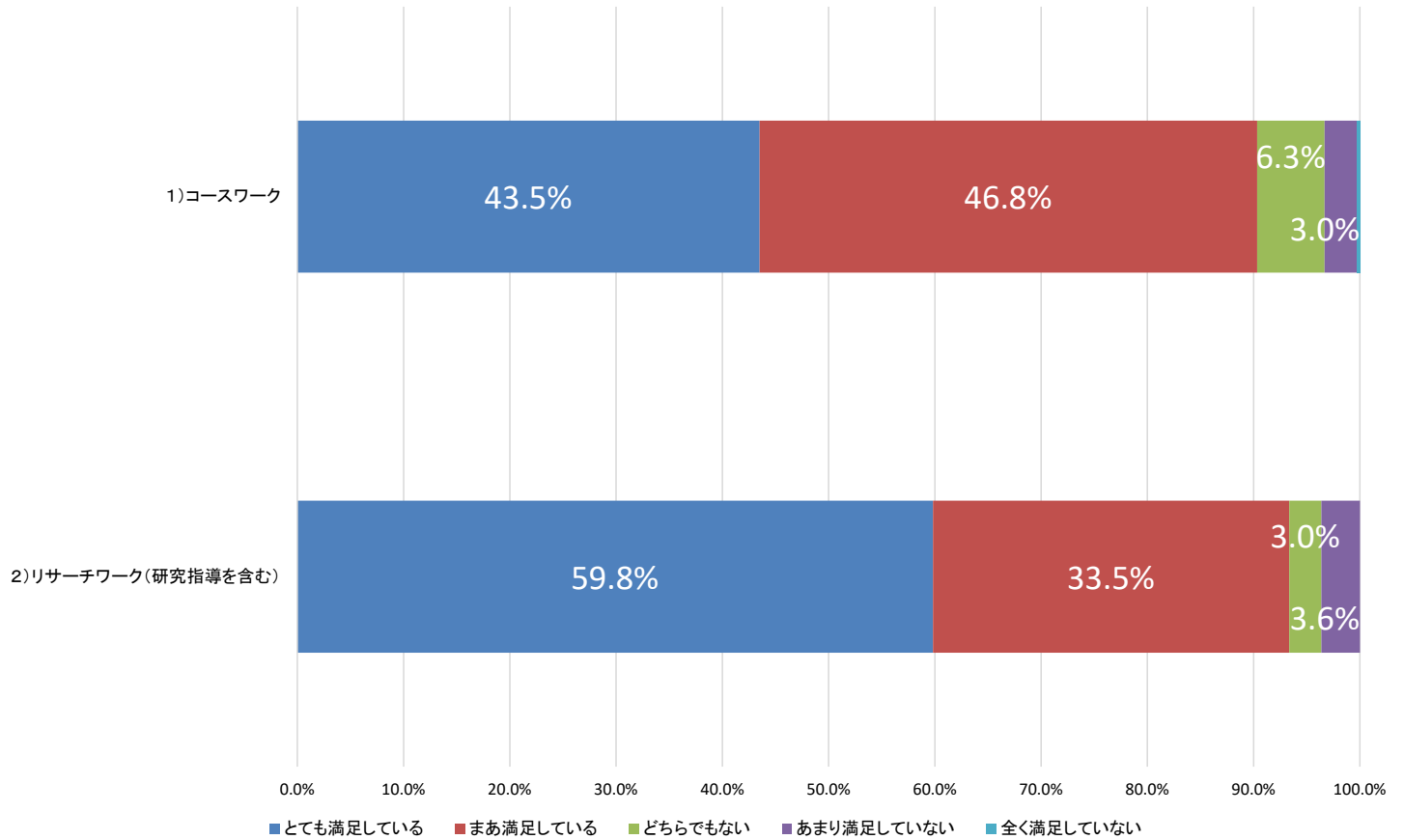
- ・ 調査対象：令和7年度修士課程／博士前期課程修了予定の全学生
- ・ 調査期間：令和7年11月13日～令和8年3月6日
- ・ 回答数： 332名（回答率82.8%）
- ・ 内訳

研究科	回答者数／対象者数	回答率
人文社会科学	9／17	52.9%
教育学	53／60	88.3%
医学系	4／9	44.4%
理工学	197／235	83.8%
農学	65／71	91.5%
医農融合公衆衛生学環	2／4	50.0%
地域レジリエンス学環	2／5	40.0%
合計	332／401	82.8%

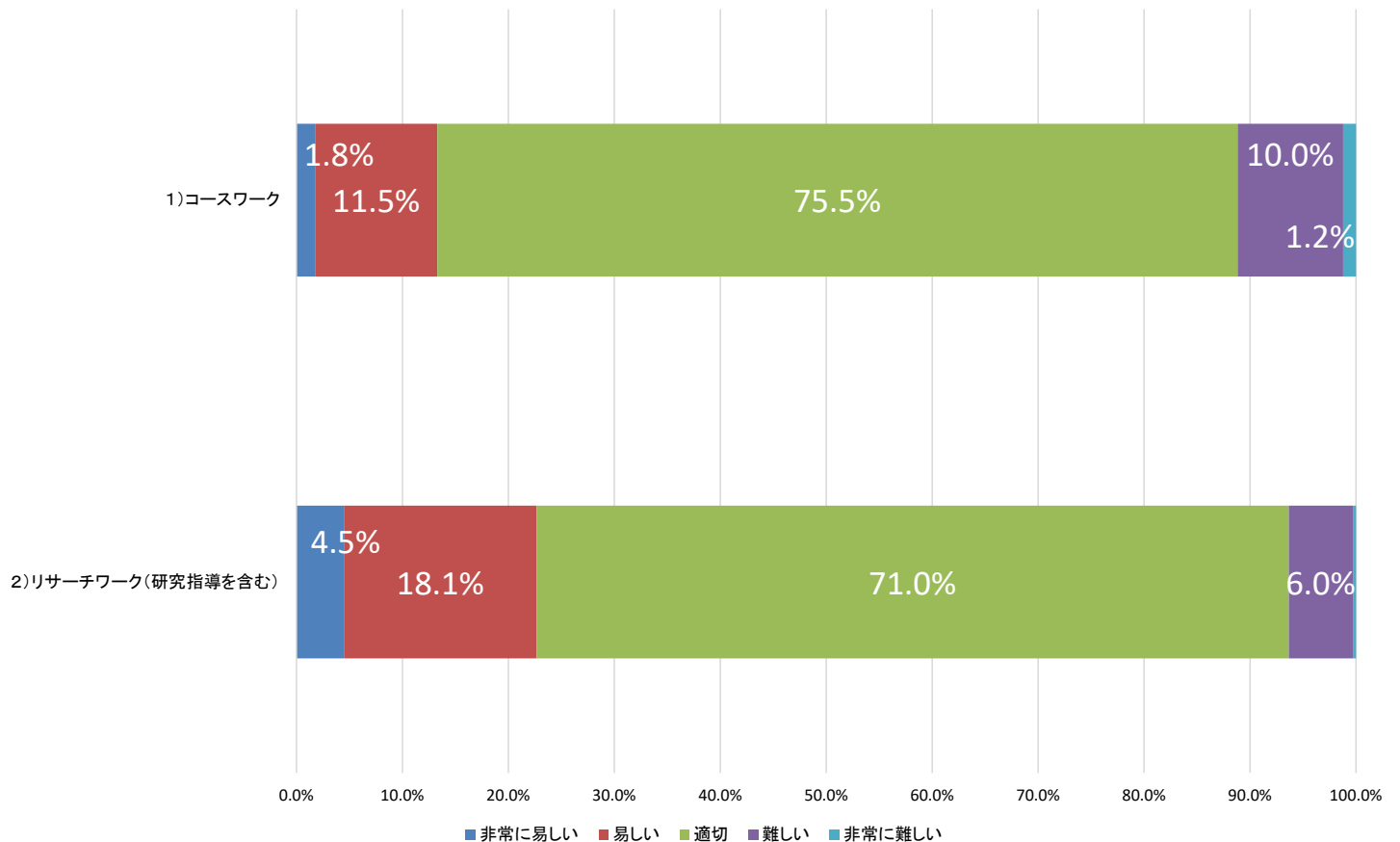
大学院の志望理由



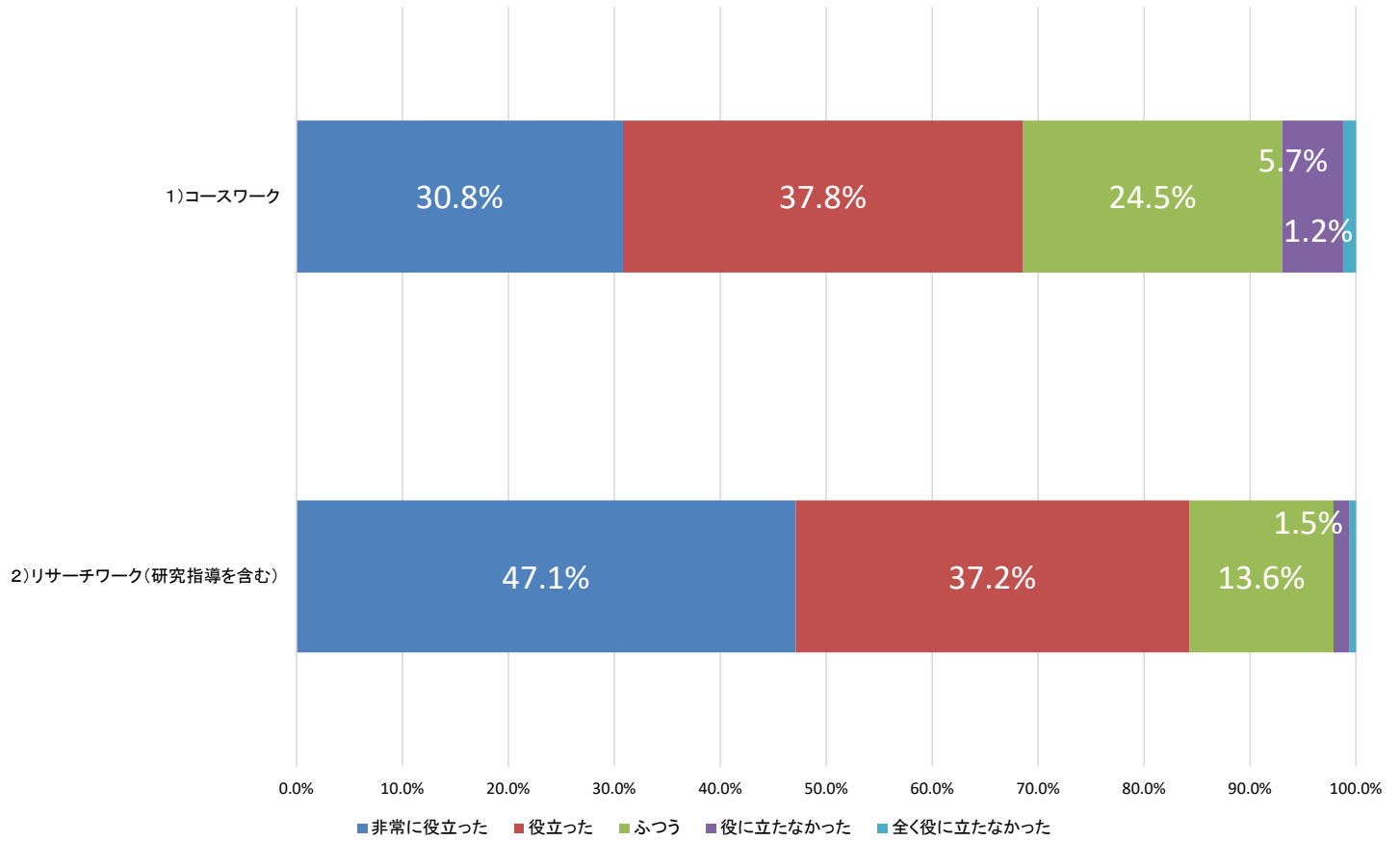
教育プログラムの満足度



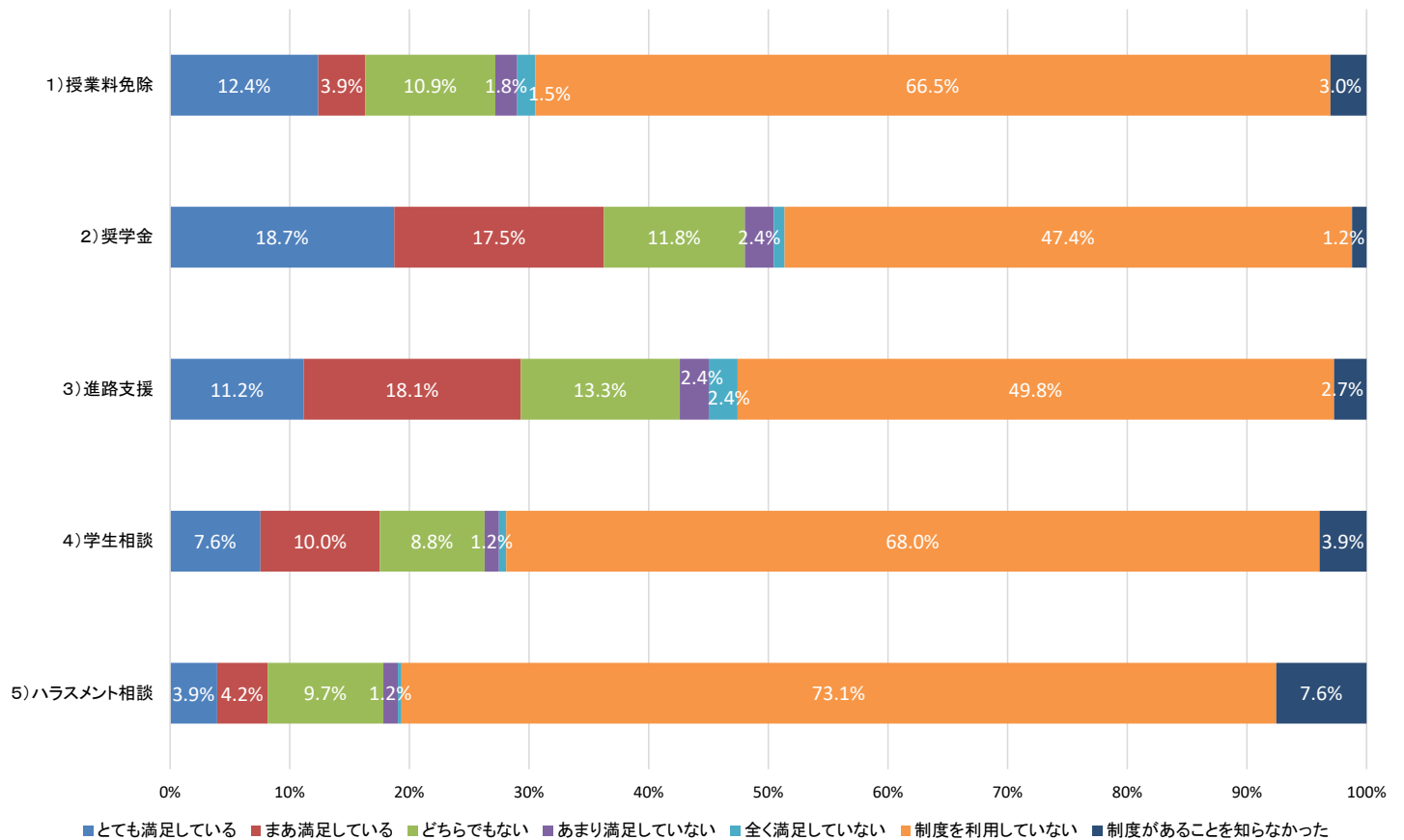
教育プログラムの学術的水準



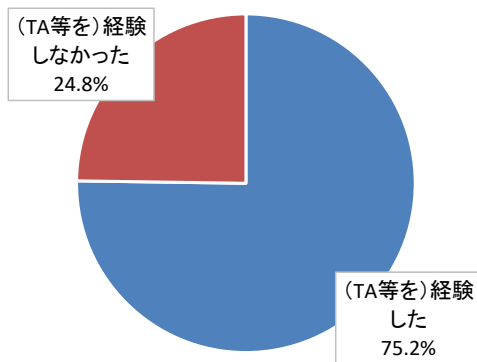
進路決定への影響



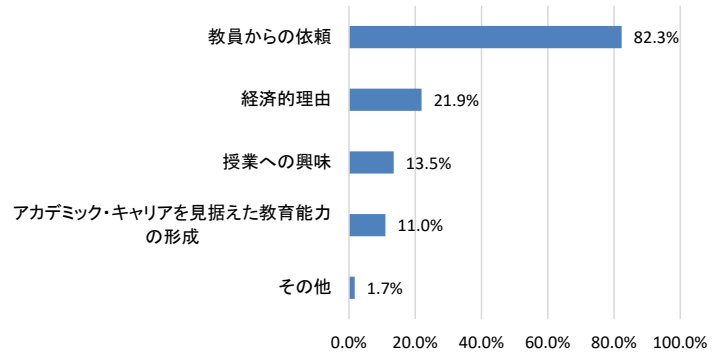
各種支援への満足度



TA経験

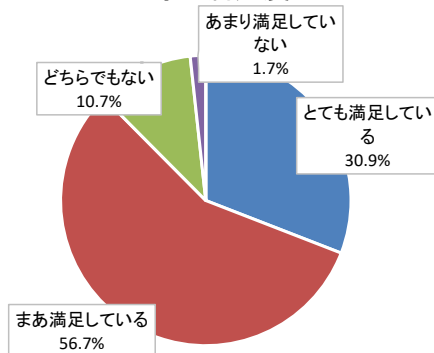


TA等になった理由

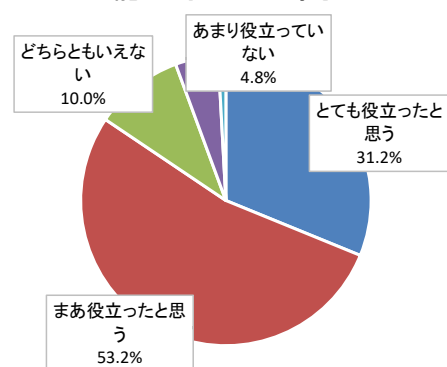


TA経験について②

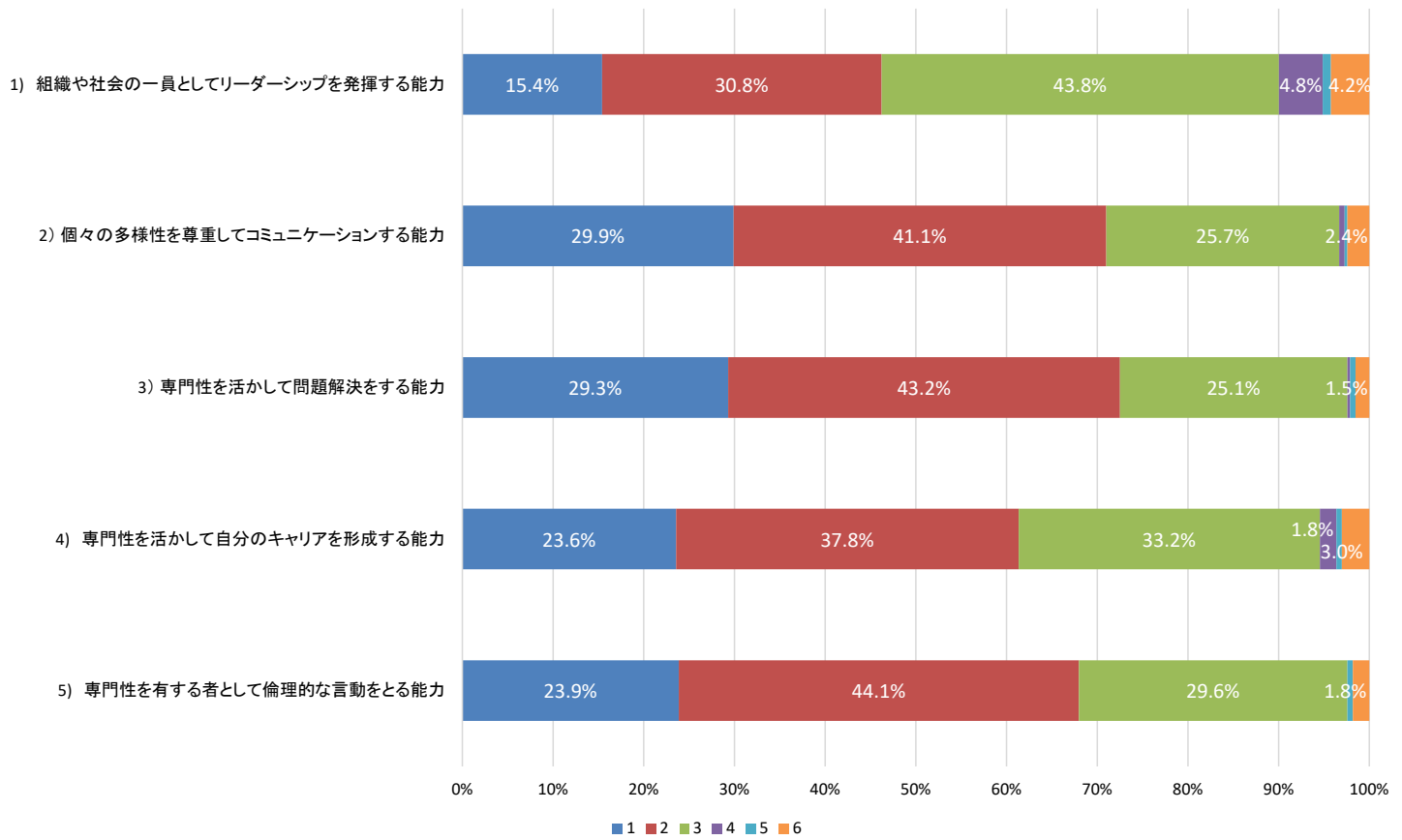
TA等の満足度



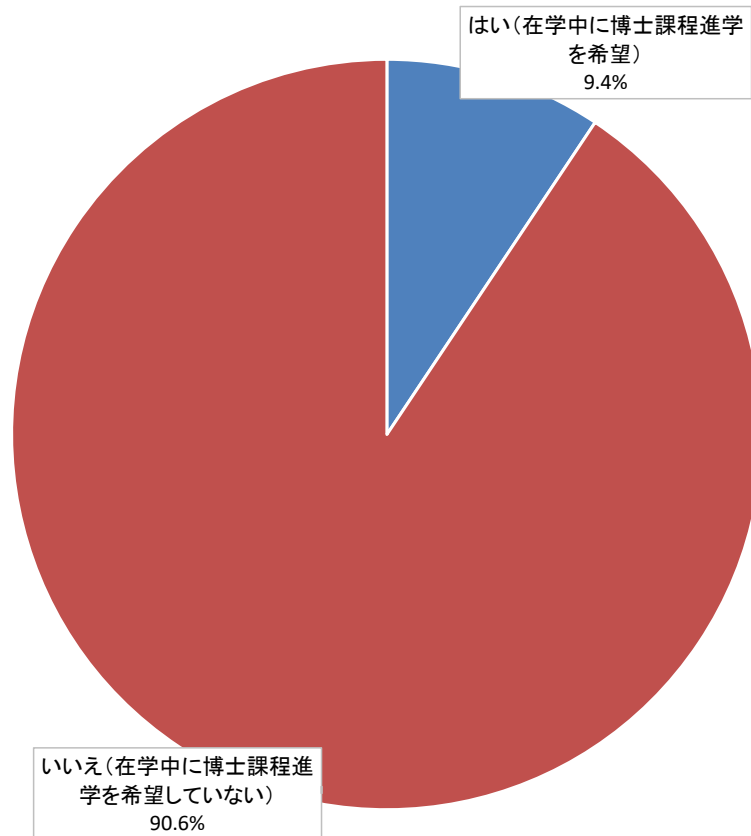
能力向上への寄与



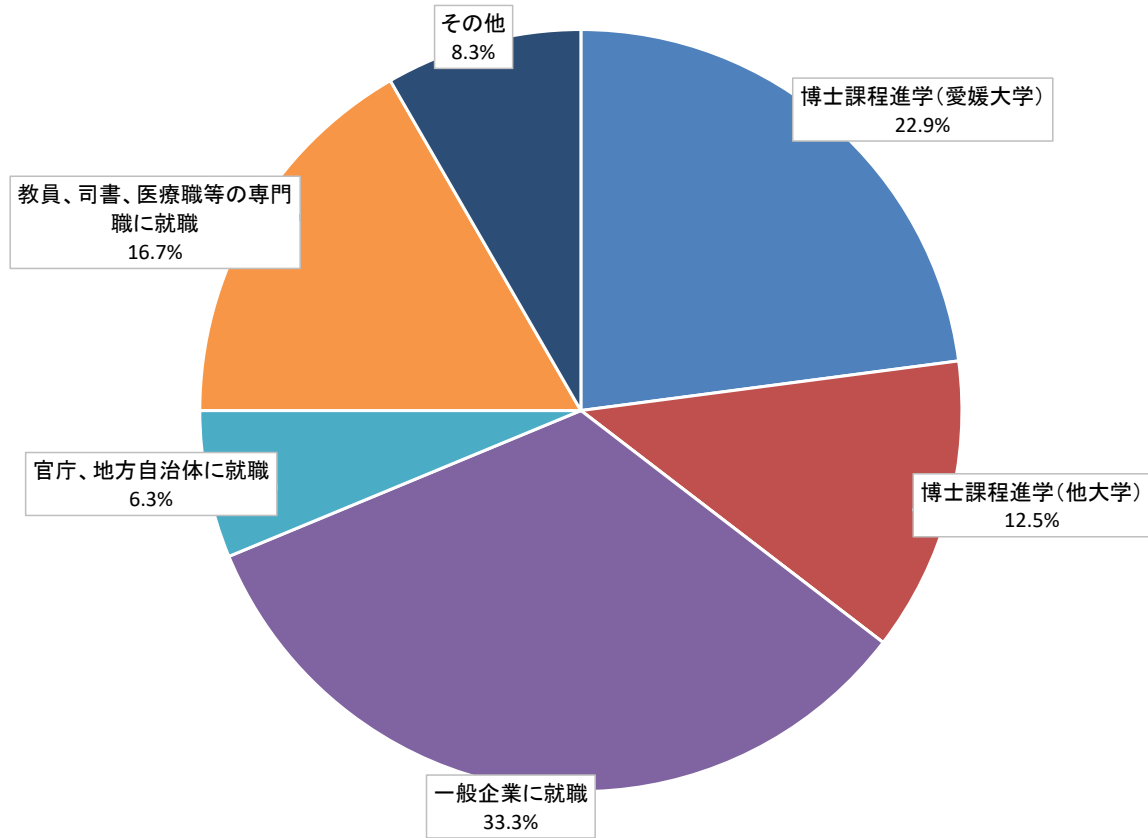
愛大トランスファラブルスキル習得度



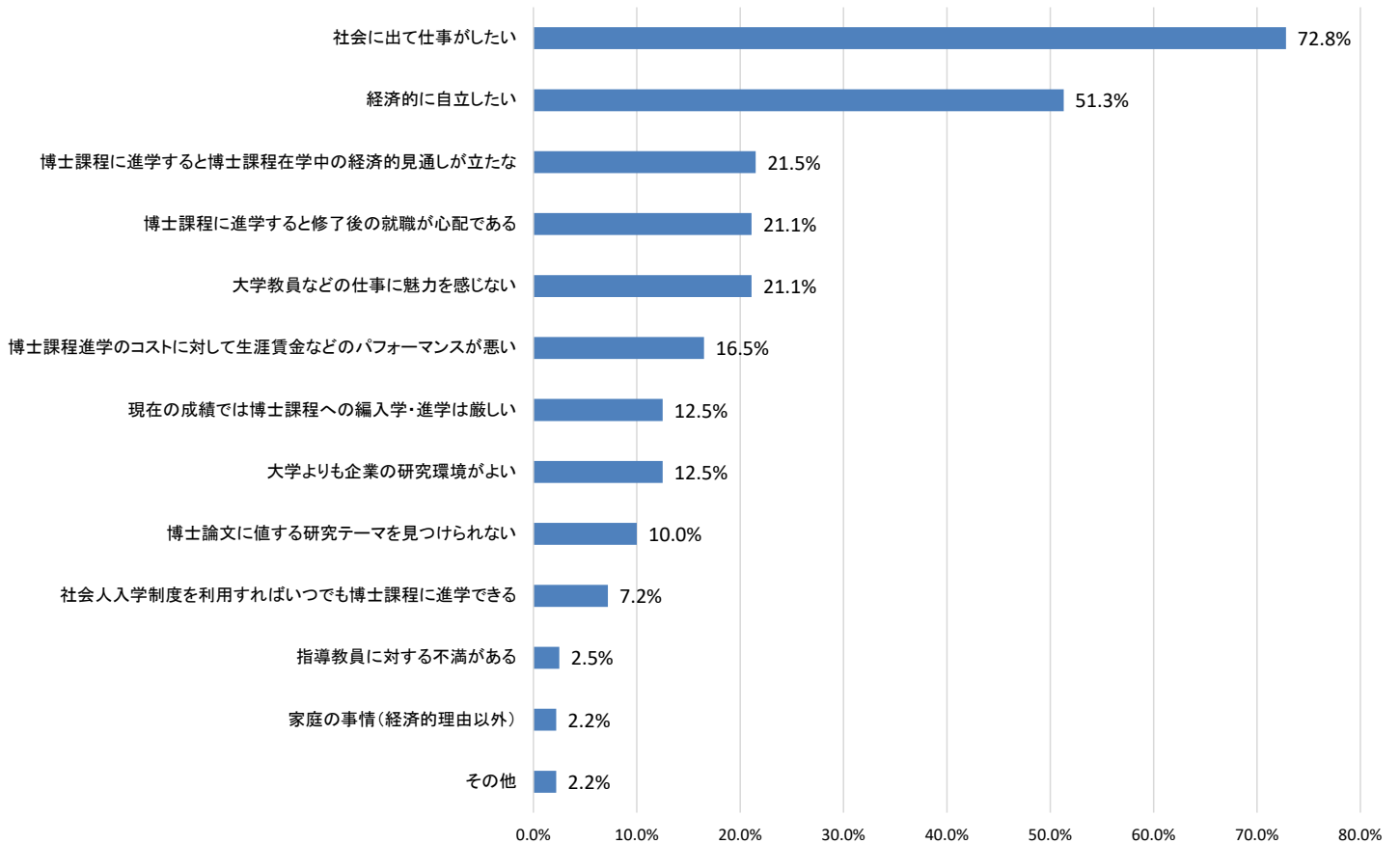
博士課程への進学希望



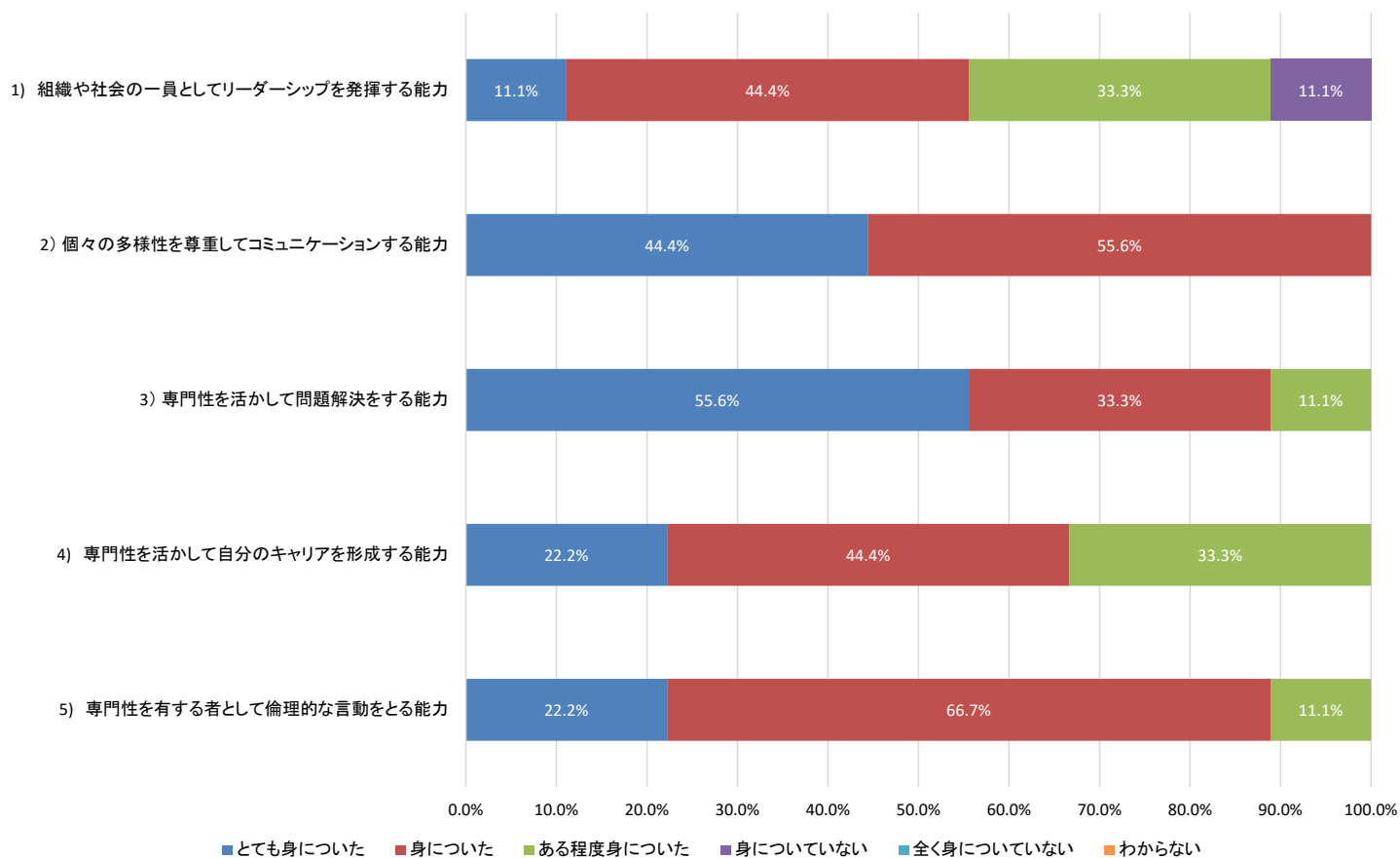
4月以降の進路



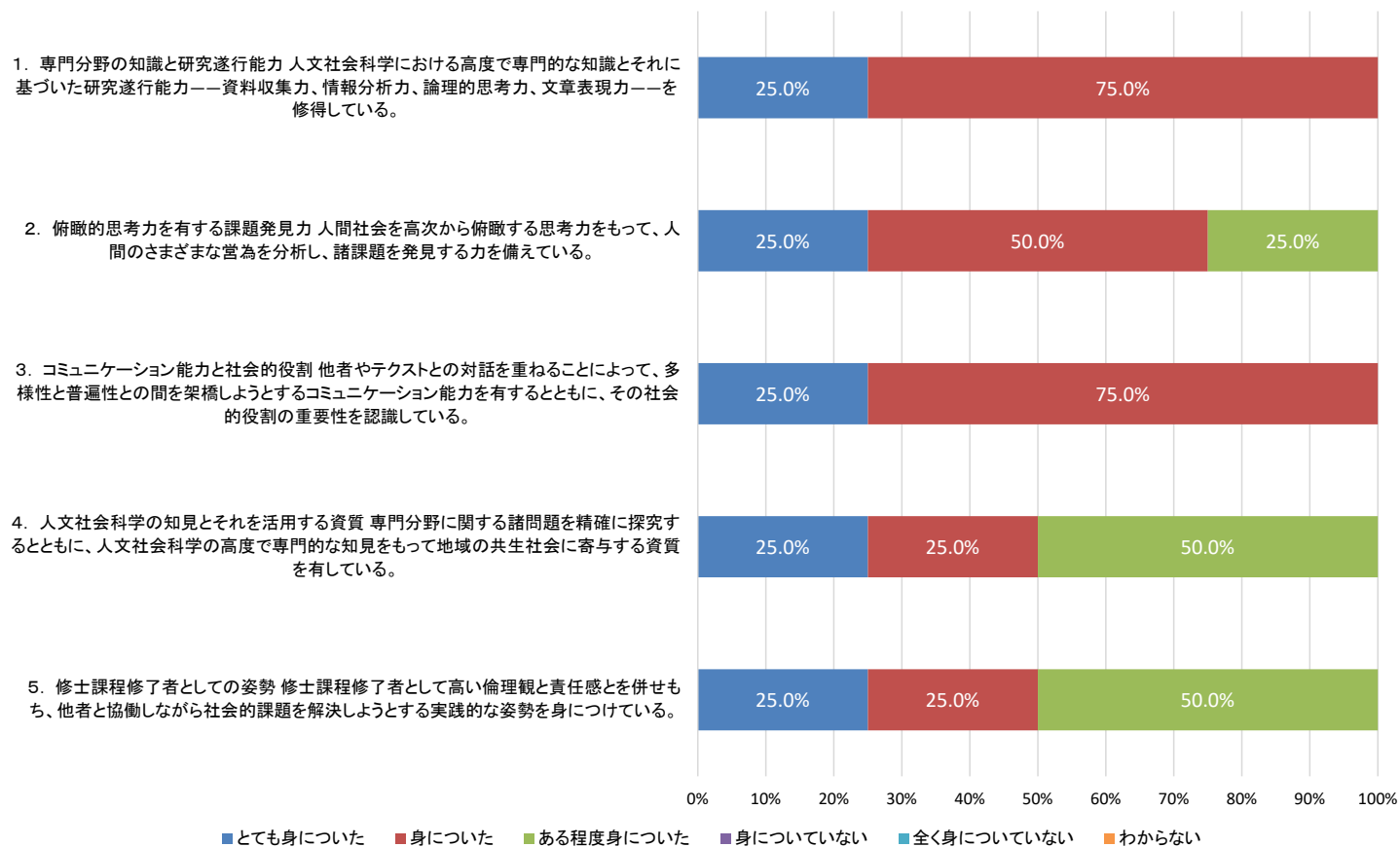
博士課程に進学しない理由



愛大トランスファラブルスキル（人文社会科学研究科）

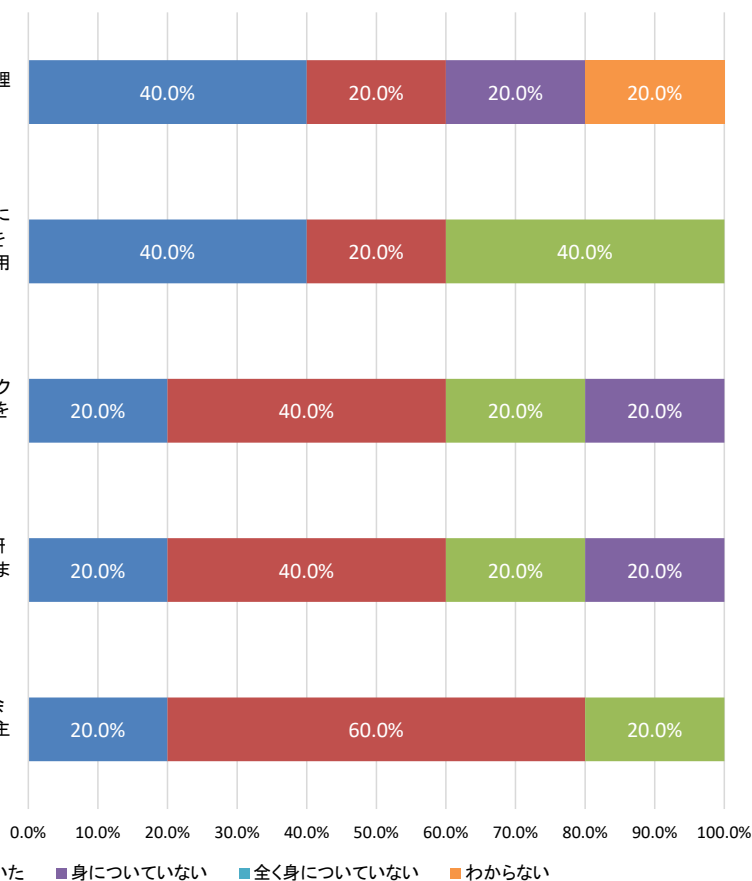


DP達成度（人文社会科学研究科法文学専攻）



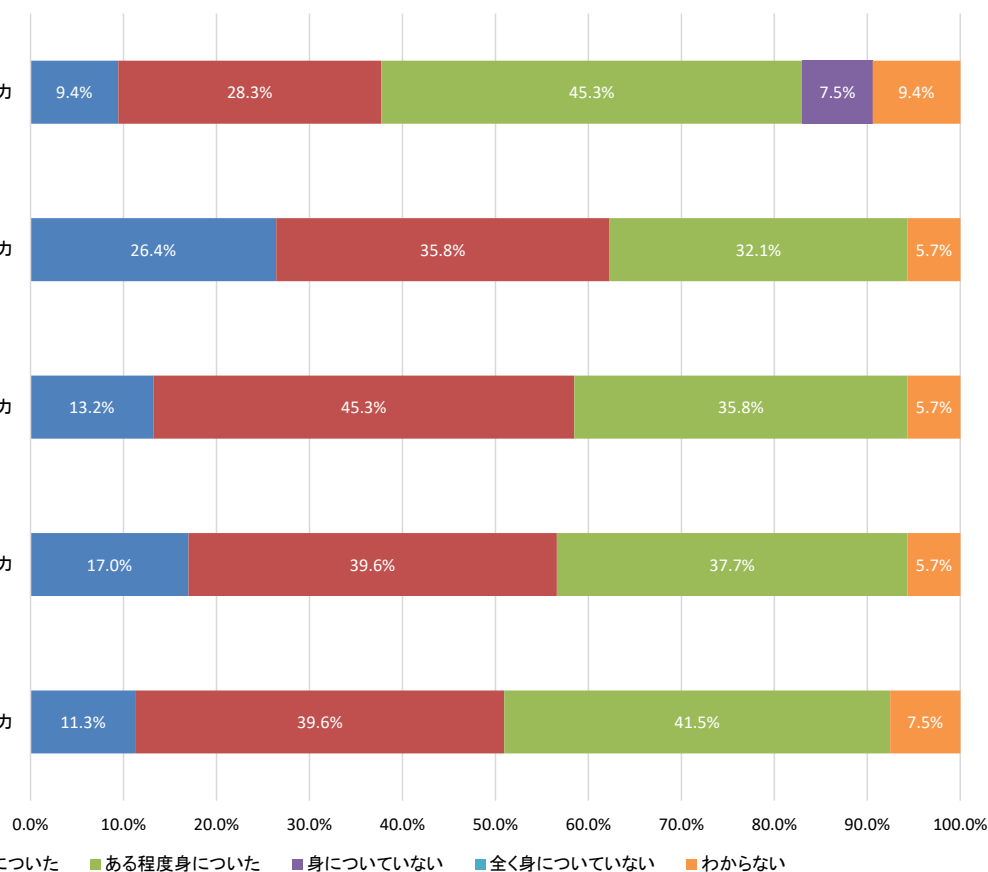
DP達成度（人文社会科学研究科産業システム創成専攻）

1. 専門分野の知識と理解 社会科学の高度な専門知識を有し、産業システムの本質を理解できる。
2. 課題発見力と実践的研究の遂行能力 社会科学の幅広い学識を有し、産業システムに対して理論と実践を用いて多面的な考察及び的確な分析を行い、産業システムの課題を発見できる。また、研究課題と目標を適切に設定し、論理的思考及び適切な研究方法を用いて実践的研究を着実に進めることができる。
3. コミュニケーション能力とリーダーシップ コミュニケーション能力を有し、多様なステークホルダーと意思疎通を図り、協働することができる。社会や組織においてリーダーシップを発揮することができる。
4. 情報分析力・発信力 必要な情報を効率よく収集・整理し、データ分析手法を用いて研究対象や課題を定量的、定性的に正確に分析し、課題解決の道筋を示すことができる。また、その成果を的確に発信できる。
5. 修士課程修了者としての姿勢 修士課程修了者として豊かな人間性を有し、地域社会の持続可能な発展に強い関心を持ち続け、実践的研究能力を用いて新たな価値創造を主体的に導くことができる。

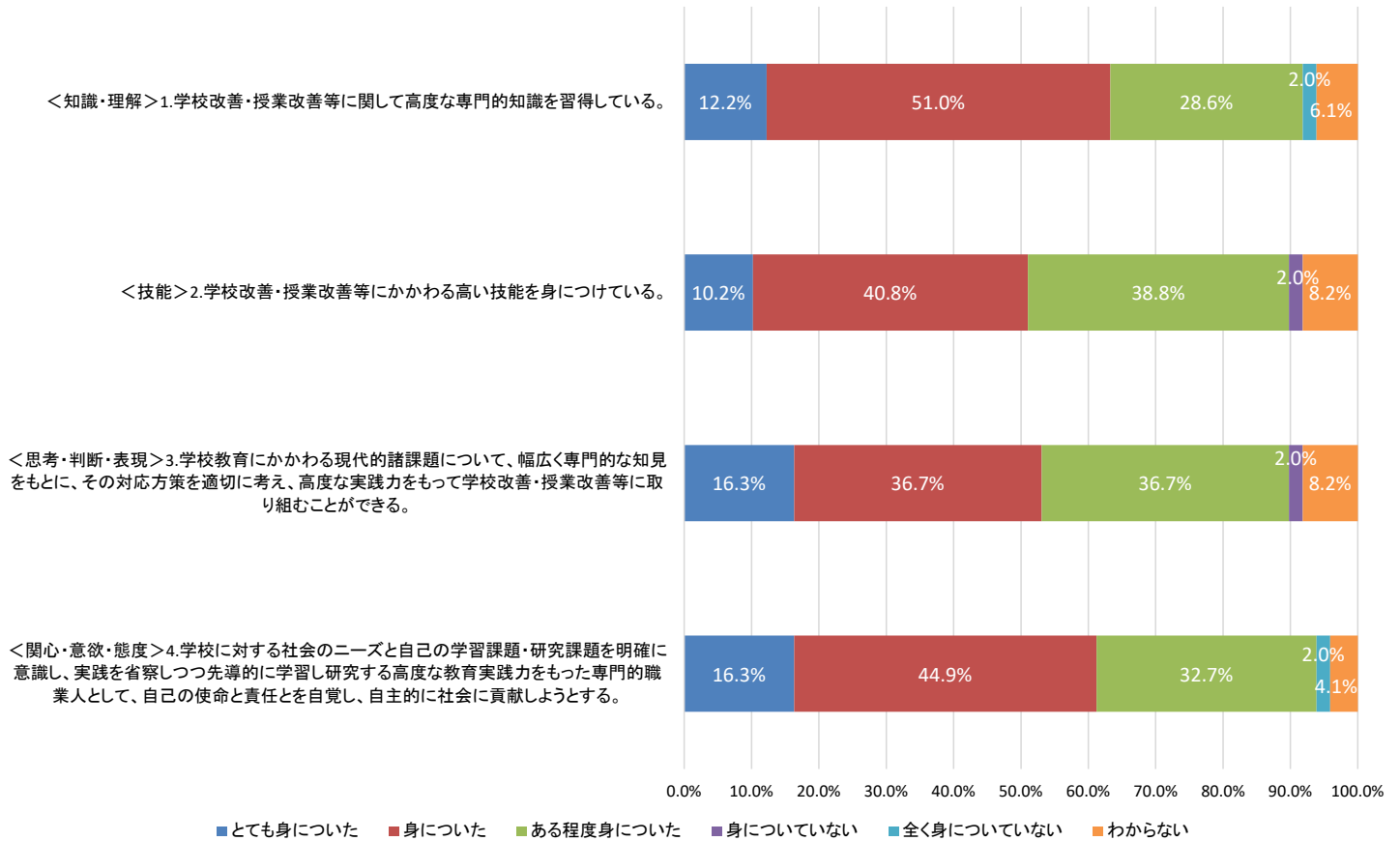


愛大トランスファラブルスキル（教育学研究科）

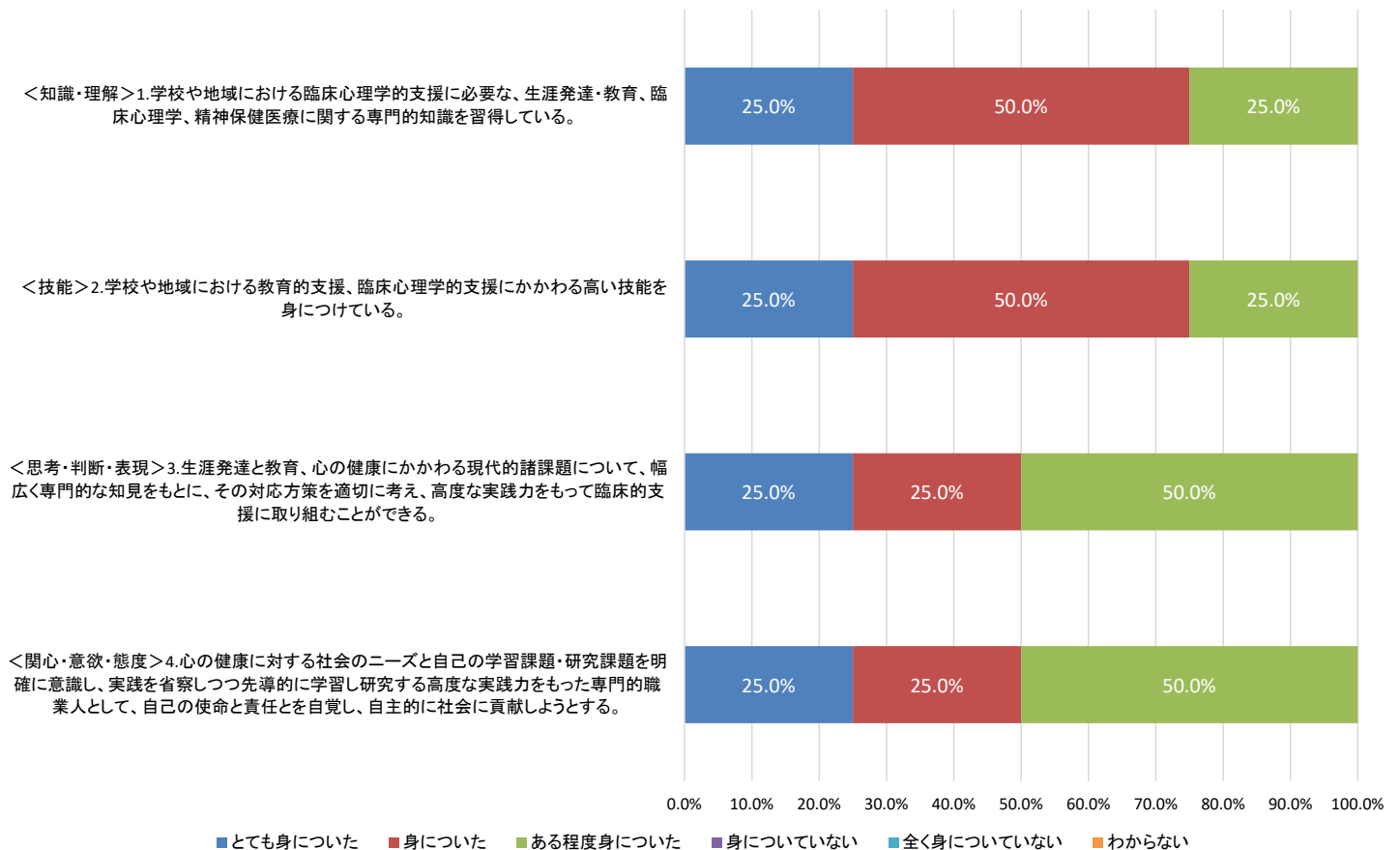
- 1) 組織や社会の一員としてリーダーシップを発揮する能力
- 2) 個々の多様性を尊重してコミュニケーションする能力
- 3) 専門性を活かして問題解決をする能力
- 4) 専門性を活かして自分のキャリアを形成する能力
- 5) 専門性を有する者として倫理的な言動をとる能力



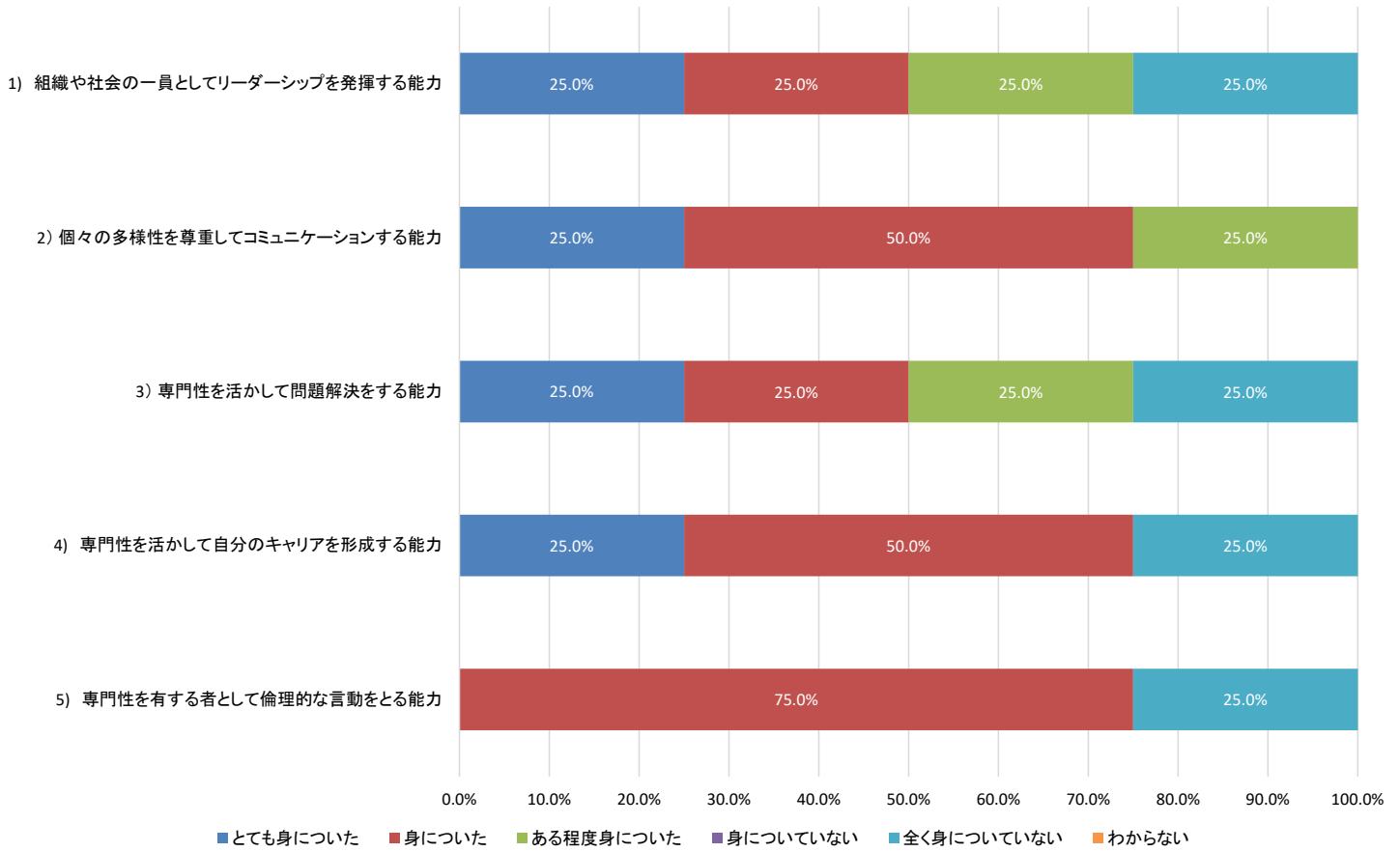
DP達成度（教育学研究科教育実践高度化専攻）



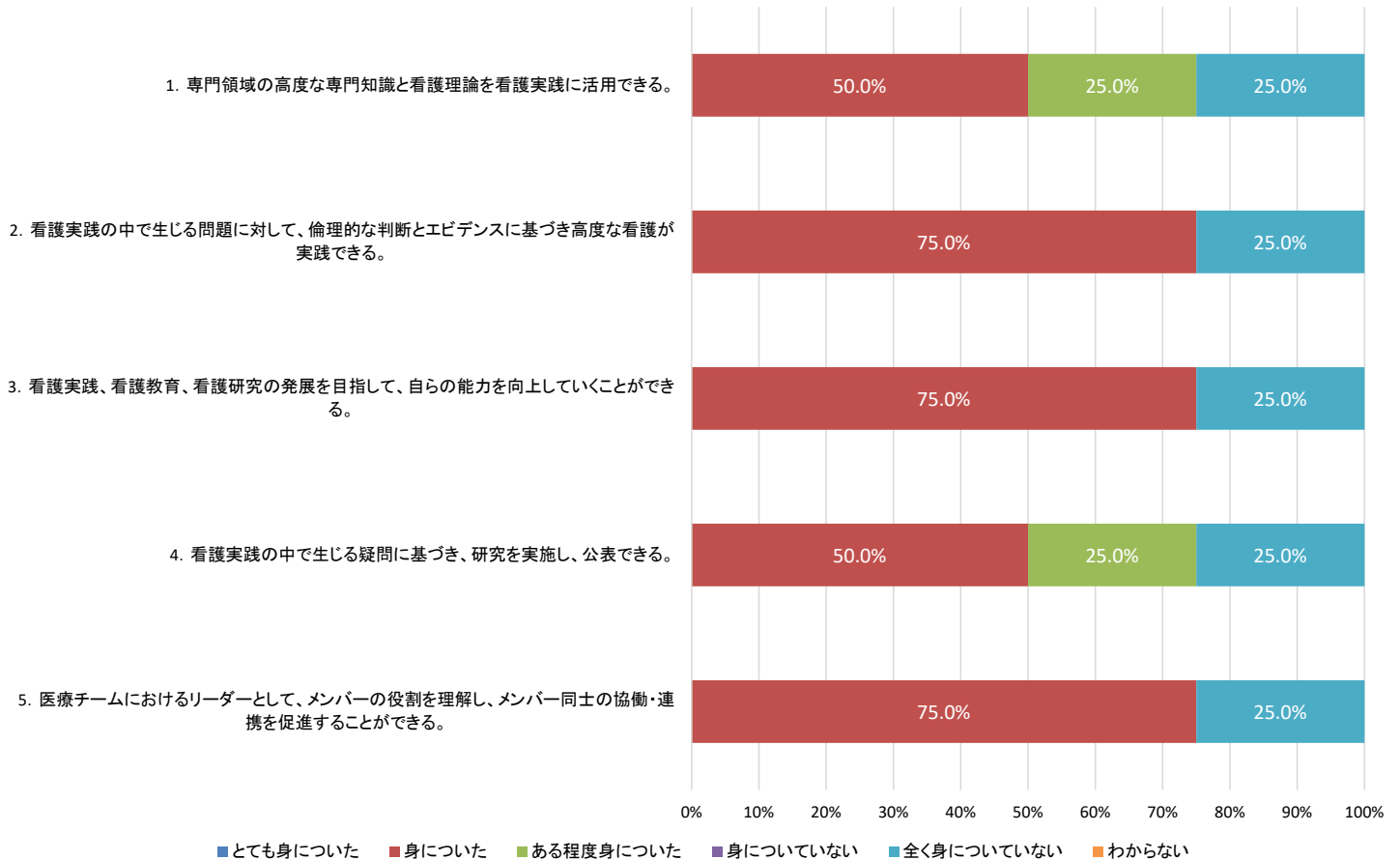
DP達成度（教育学研究科心理発達臨床専攻）



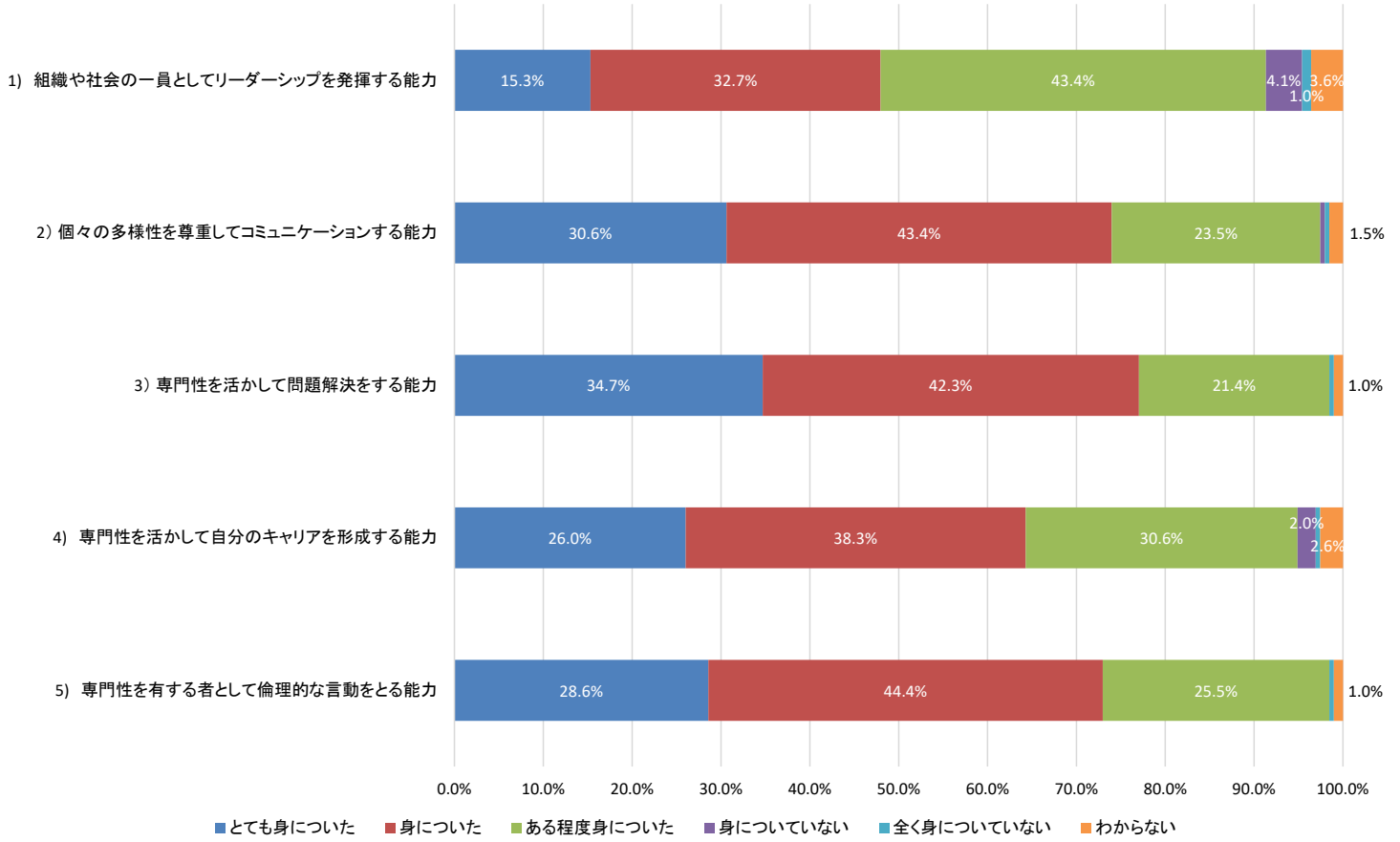
愛大トランスファラブルスキル（医学系研究科看護学専攻）



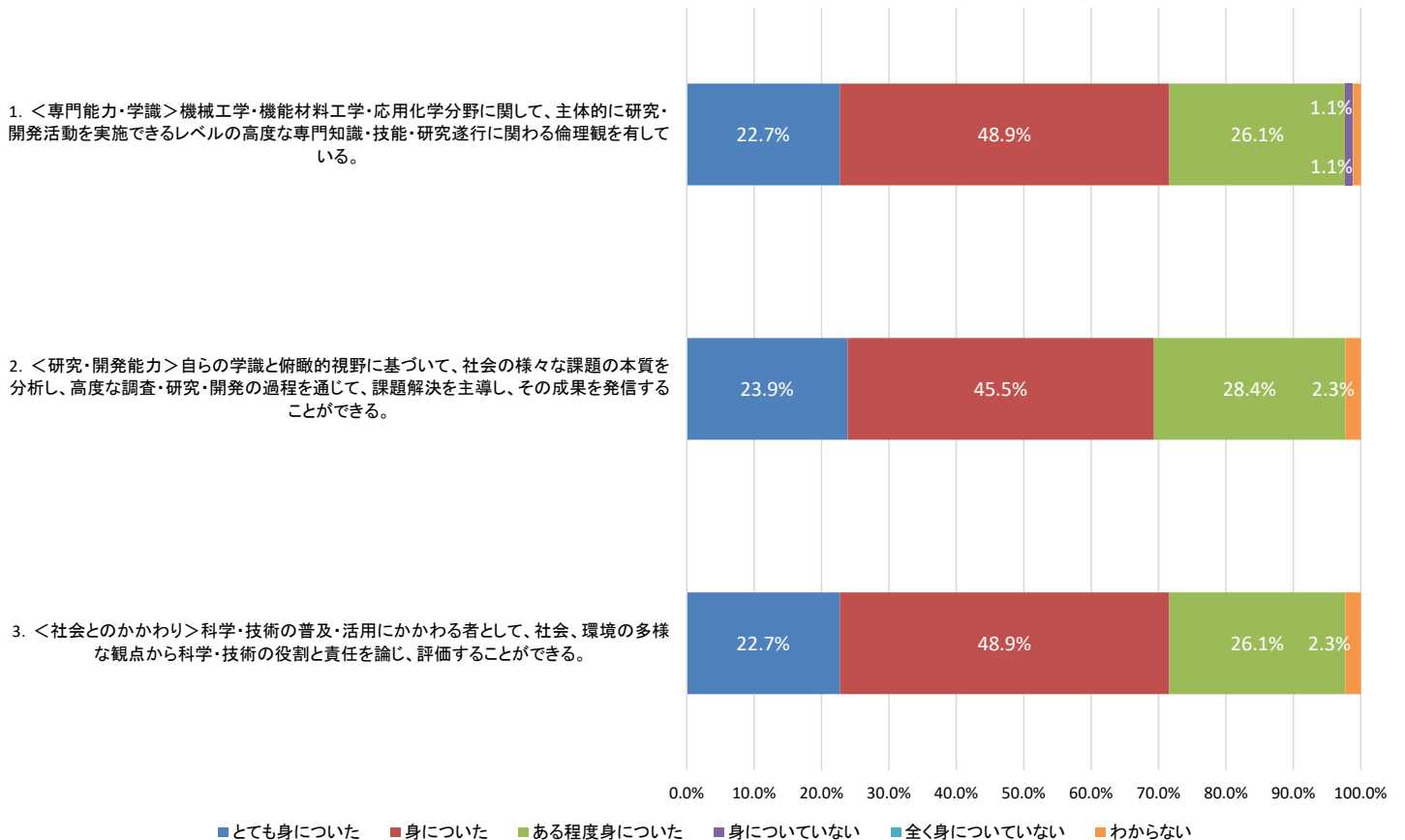
DP達成度（医学系研究科看護学専攻）



愛大トランスファラブルスキル（理工学研究科）

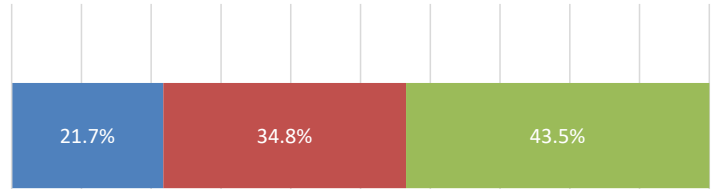


DP達成度（理工学研究科産業基盤プログラム）

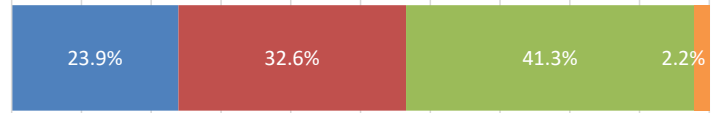


DP達成度（理工学研究科社会基盤プログラム）

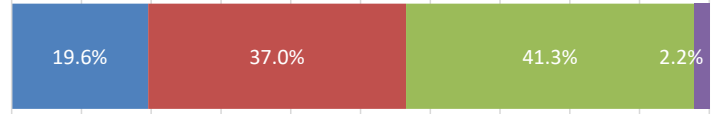
1. <専門能力・学識>環境建設工学・電気電子工学・応用情報工学分野に関して、主体的に研究・開発活動を実施できるレベルの高度な専門知識・技能・研究遂行に関わる倫理観を有している。



2. <研究・開発能力>自らの学識と俯瞰的視野に基づいて、社会の様々な課題の本質を分析し、高度な調査・研究・開発の過程を通じて、課題解決を主導し、その成果を発信することができる。



3. <社会とのかかわり>科学・技術の普及・活用にかかわる者として、社会、環境の多様な観点から科学・技術の役割と責任を論じ、評価することができる。



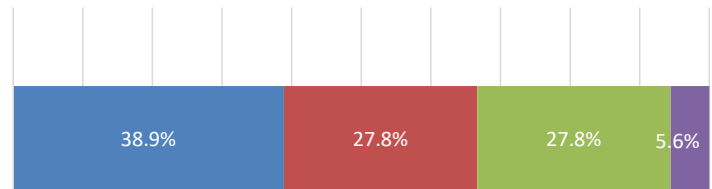
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ ととも身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない

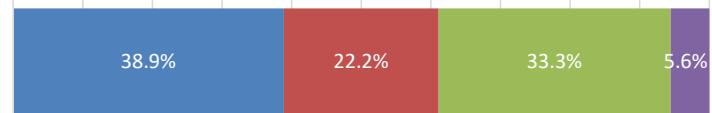


DP達成度（理工学研究科数理情報プログラム（工学系））

1. <専門能力・学識>数学・数理情報・コンピュータ科学の分野に関して、主体的に研究・開発活動を実施できるレベルの高度な専門知識・技能・研究遂行に関わる倫理観を有している。

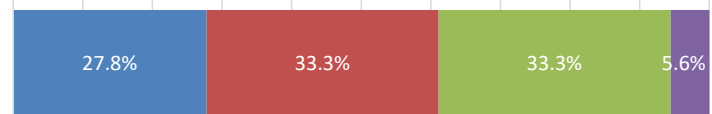


2. <研究・開発能力>自らの学識と俯瞰的視野に基づいて、社会の様々な課題の本質を分析し、高度な調査・研究・開発の過程を通じて、課題解決を主導し、その成果を発信することができる。



3. <社会とのかかわり>

科学・技術の普及・活用にかかわる者として、社会、環境の多様な観点から科学・技術の役割と責任を論じ、評価することができる。



0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ ととも身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない

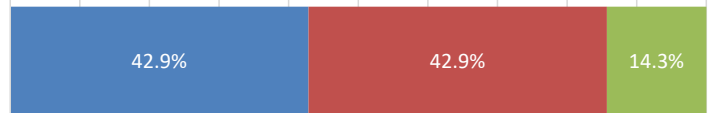


DP達成度（理工学研究科数理情報プログラム（理学系））

1. <専門能力・学識>数学・数理情報・コンピュータ科学の分野に関して、主体的に研究・開発活動を実施できるレベルの高度な専門知識・技能・研究遂行に関わる倫理観を有している。



2. <研究・開発能力>自らの学識と俯瞰的視野に基づいて、社会の様々な課題の本質を分析し、高度な調査・研究・開発の過程を通じて、課題解決を主導し、その成果を発信することができる。



3. <社会とのかかわり>科学・技術の普及・活用にかかわる者として、社会、環境の多様な観点から科学・技術の役割と責任を論じ、評価することができる。



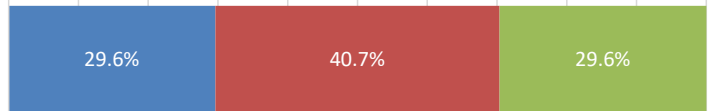
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

■ ととも身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない



DP達成度（理工学研究科自然科学基盤プログラム）

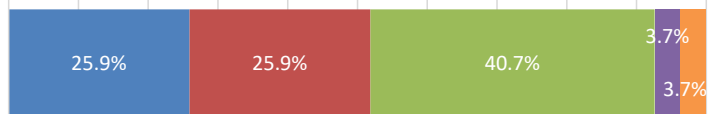
1. <専門能力・学識>自然科学の分野に関して、主体的に研究・開発活動を実施できるレベルの高度な専門知識・技能・研究遂行に関わる倫理観を有している。



2. <研究・開発能力>自らの学識と俯瞰的視野に基づいて、社会の様々な課題の本質を分析し、高度な調査・研究・開発の過程を通じて、課題解決を主導し、その成果を発信することができる。



3. <社会とのかかわり>科学・技術の普及・活用にかかわる者として、社会、環境の多様な観点から科学・技術の役割と責任を論じ、評価することができる。

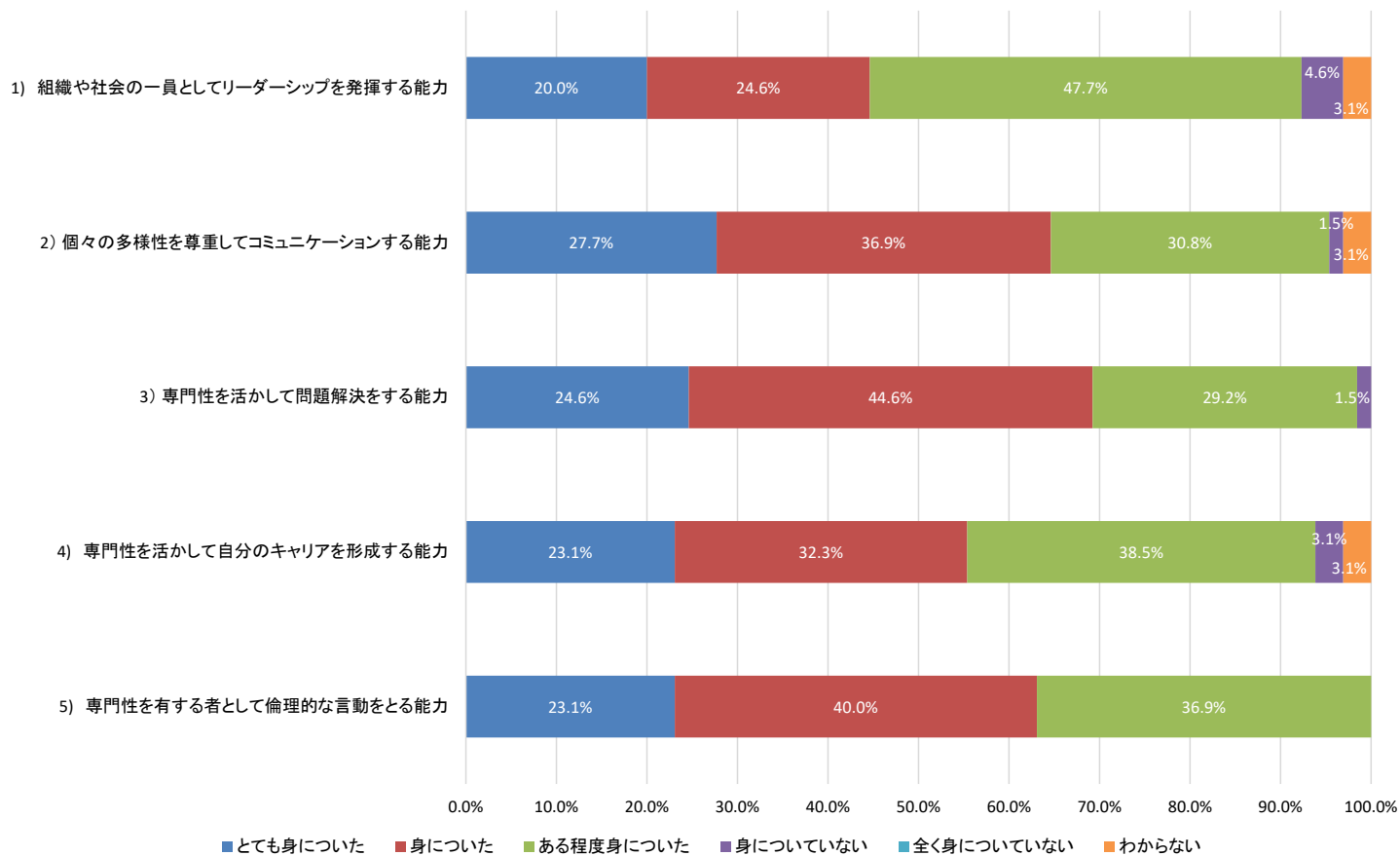


0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0% 80.0% 90.0% 100.0%

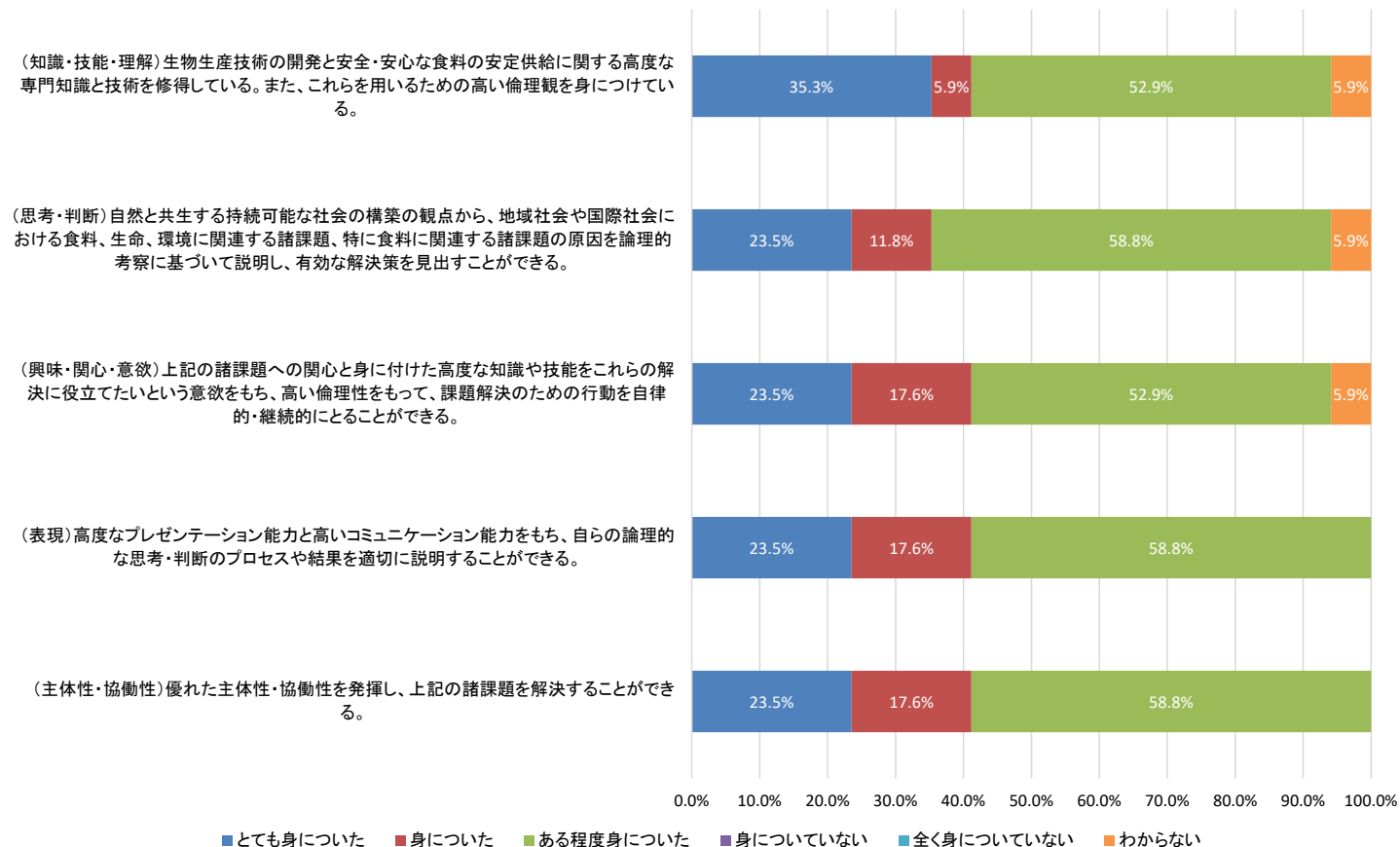
■ ととも身についた ■ 身についた ■ ある程度身についた ■ 身についていない ■ 全く身についていない ■ わからない



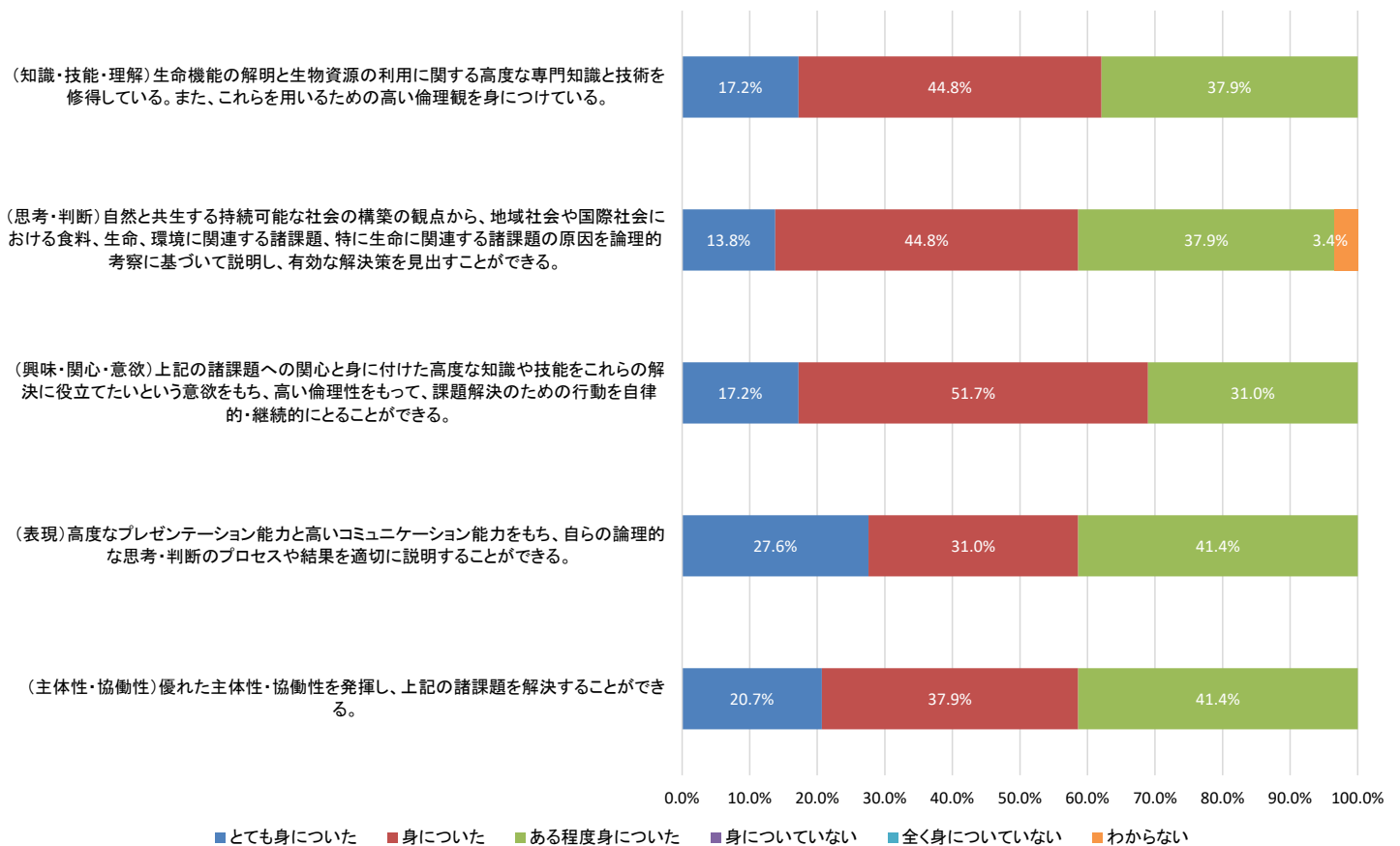
愛大トランスファラブルスキル（農学研究科）



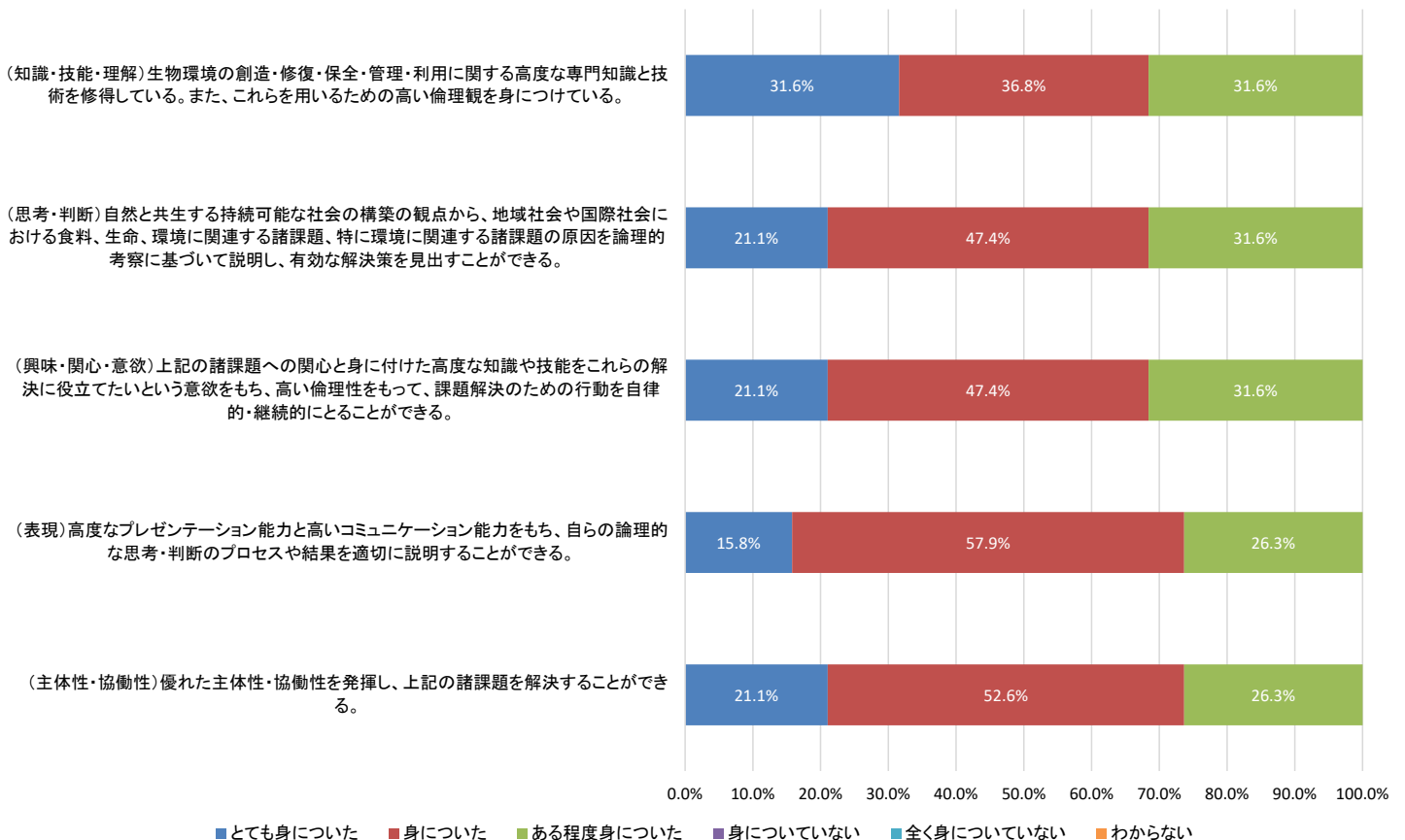
DP達成度（農学研究科食料生産学専攻）



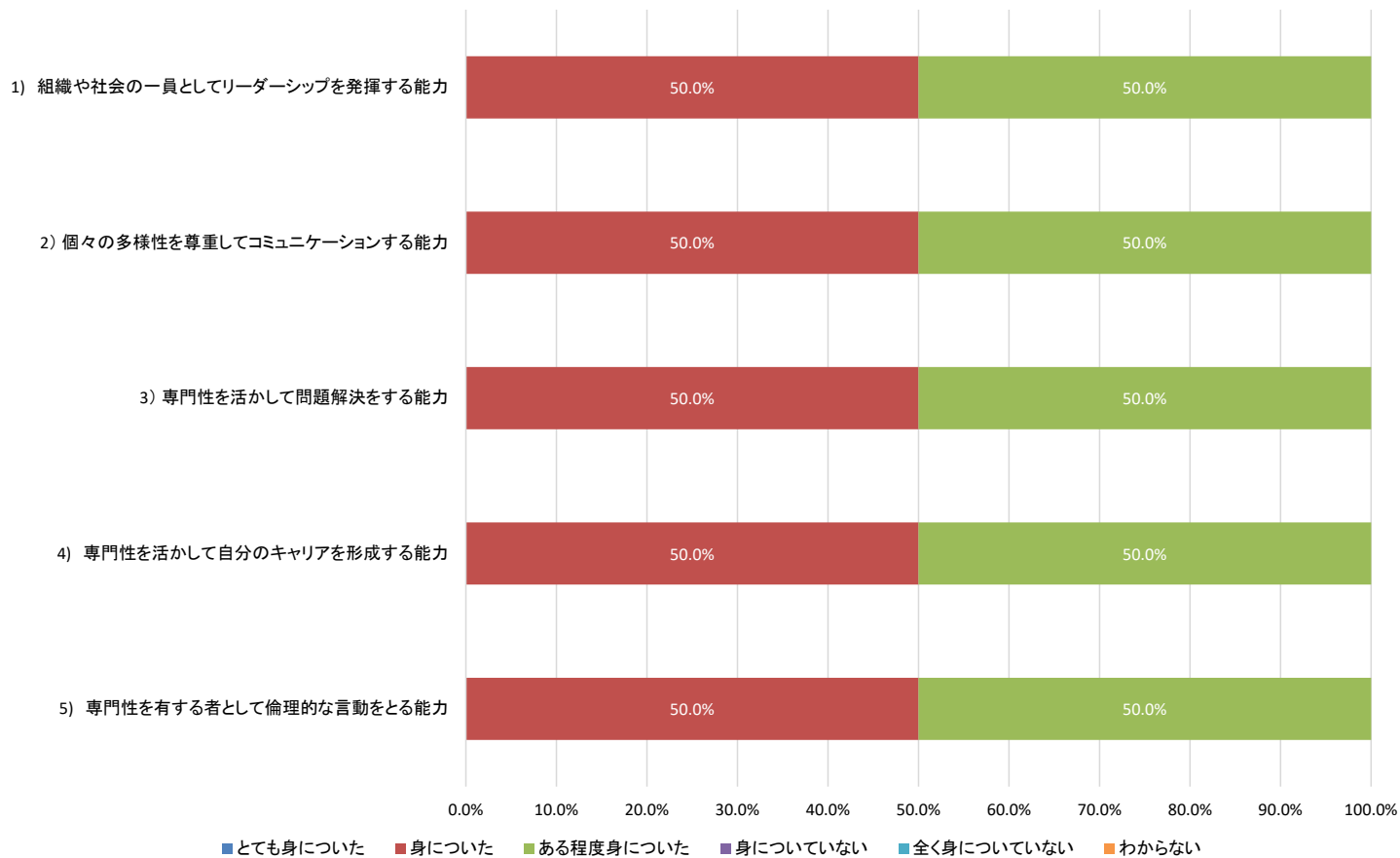
DP達成度（農学研究科生命機能学専攻）



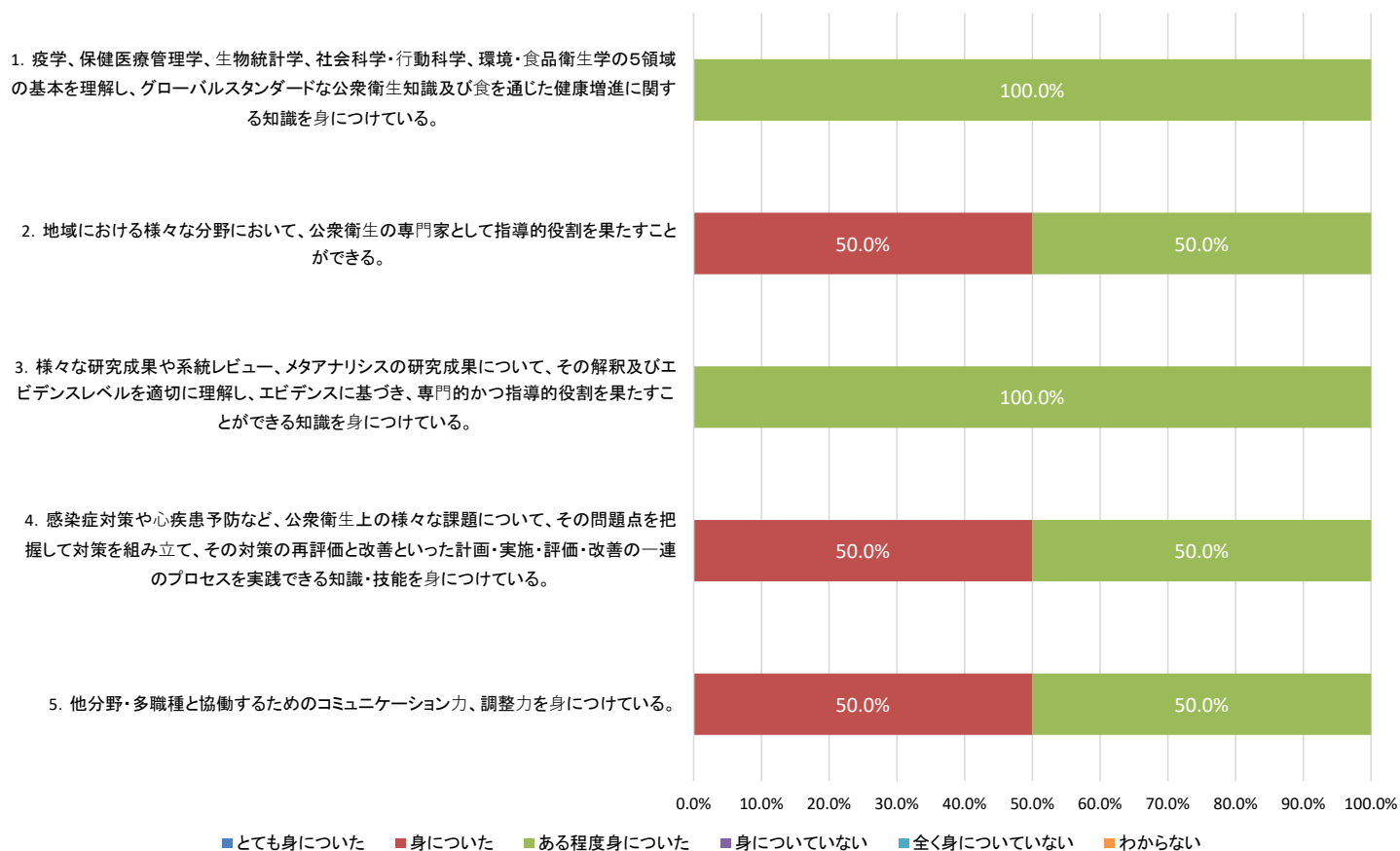
DP達成度（農学研究科生物環境学専攻）



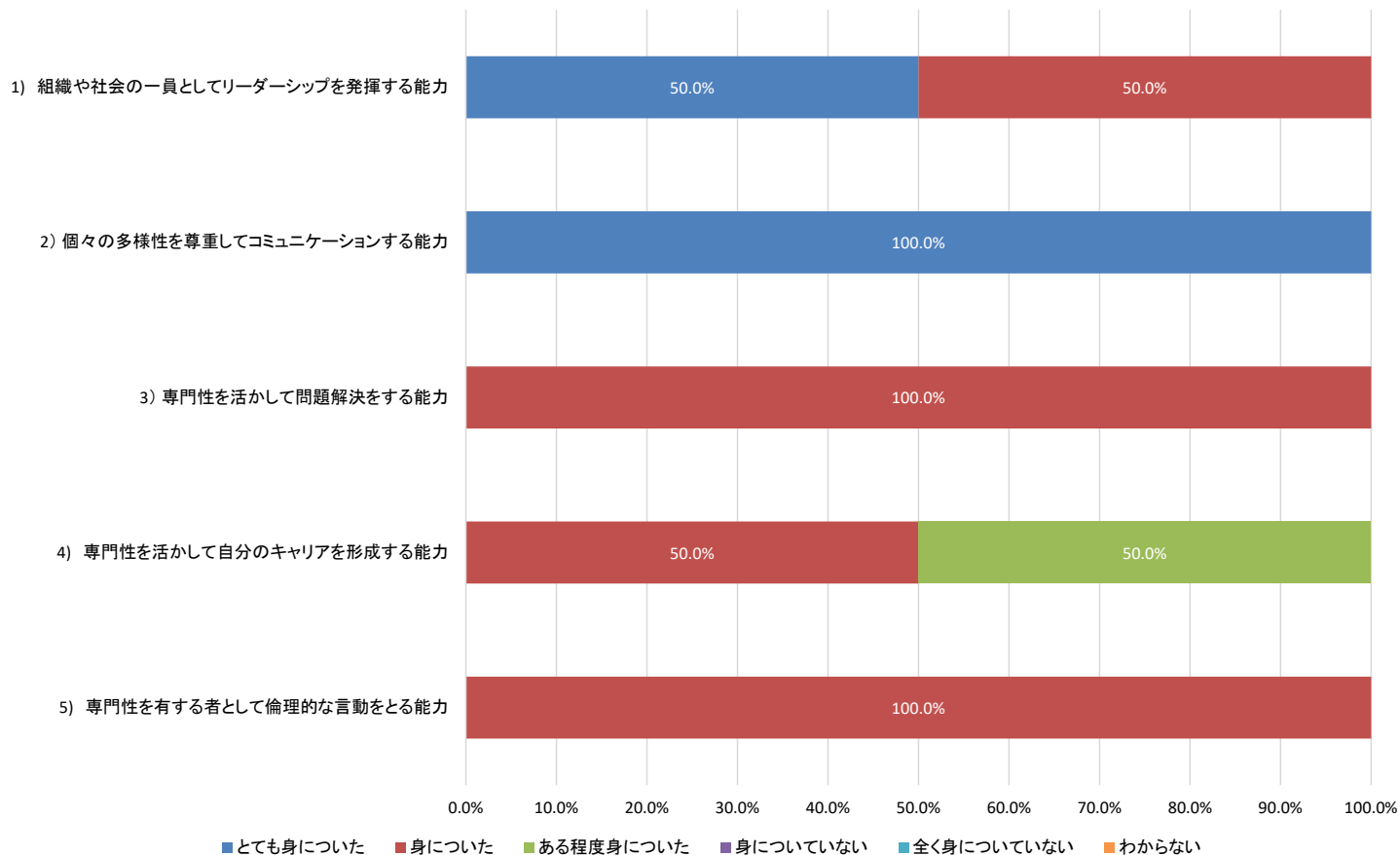
愛大トランスファラブルスキル（医農融合公衆衛生学環）



DP達成度（医農融合公衆衛生学環）



愛大トランスファラブルスキル（地域レジリエンス学環）



DP達成度（地域レジリエンス学環）

